

第八回



# 富士山大賞

二〇二三 受賞作品歌集



令和五年は富士山が世界文化遺産に登録されて十周年を迎えます。

その間、大勢の皆様が努力で富士山の文化的価値の維持がなされてきていると存じています。さらに私達にとつての富士山は文化のみならず生活に溶け込み、日常を潤わせてくれる大きな存在でもあります。

今年も素晴らしい秀作を多数応募いただきました。

それぞれの短歌に富士山と共に有る暮らしが、ありありと感じられます。

どうか秀作の数々をご覧ください。作品からも元気をもらってください。

富士山大賞実行委員会

大賞

夕暮れの滲んだ空に富士がいて、  
そうだねきつとなんとかなるさ

東京都 細田 泰司

準大賞

富士山に見守られての103歳  
枝先ゆらし春の雪ふる

山梨県

柴田 奉子

青空の中心点は今わたし  
山頂岩にすつくと立てり

長崎県

縁

岡井隆記念賞  
(学生優秀作品)

版板に 掘った広重 富士の絵に  
真の富士が 大笑いする

山口県 横道 玄

優秀賞

真上より見し富士山の火口には白き沈黙飛行機の影

愛媛県

秋本 哲

ここまでも灰はくるらし電線の間におさまる富士へ陽は入る

東京都

佐藤 優羽

日の入りに富士の姿は影となる俄かに明し東京タワー

東京都

倉重 恵造

いくすぢの野焼きのけむりの先に座す真白き富士を車窓に追ひつ

宮城県

白鳥 光代

富士山の雪解け水に銀の線鮠（はや）のスピード流れに負けず

静岡県

海野 康代

六合目に父とアイスを食べし日よ介護のくらし今何合目

東京都

石本 一美

子の背中見えなくなりて来た道を戻れば朗らかな白き富士

神奈川県

友常 甘酢

つぎつぎと戻る選手を迎え待つ富士登板競技（富士ヒルクライム）ここは五合目

山梨県 宮地 清江

富士山もビジネスライクな顔をする取引先の窓から見れば

千葉県 小金森まき

朱に染まる富士の夜明けを見えていますマリモの眠る湖のほとりに

山梨県 永井 英男



## 外国語短歌優秀賞

where I first saw  
its beauty  
a tiny  
Mt. Fuji  
on a postage stamp

最初に私とその美を目にした場所は小さな富士の描かれた郵便切手だった

Susan Burch, USA  
アメリカ

gazing at Mount Fuji painting  
in my dream  
Mount Fuji seeing me  
I wake up and become  
the snail

夢の中富士山の絵を描いていると富士が見つめるので私は目覚めかたつむりになった

Ken Sawitri, Indonesia  
インドネシア

for a moment  
from the train window  
Mt. Rainier in snow  
as if that could solve  
all the world's problems

わずかの間汽車の窓から見える雪のレーニア山—世界の全ての問題を解決してくれるよう

Michael Dylan Welch, USA  
アメリカ

cross-stitched stars  
over the snow-clad Mt. Fuji  
in deep blue hour  
grandma starts to knot  
her final string of breath

雪を頂く富士山の上の刺繍の星 祖母は日の出前に刺しはじめ最後の一息をつく

Lakshmi Iyer, India  
インド

Hokusais Fuji  
wrapped in Prussian blue.  
von Siebold gave him the colour.  
He came from Franconia  
just like me.

紺青をまとった北斎の富士 フォン・シーボルトは北斎に染料を与えた  
シーボルトは私と同じフランコンニア出身だった

Cornelia Rossberg, Germany  
ドイツ

a grey heron  
eyes an old golden koi  
in the distance  
the rumbling call  
of Fujisan clouds

アオサギが老錦鯉に目をつけている 富士山の雲の遠雷が聞こえる

Richard L Matta, USA  
アメリカ

remember the lyrics  
of elementary school song  
I see the Mt. Fuji  
with white cloud  
on the top

白き雲頭にいなく富士をみて思い出したる小学校歌

Atsuko Sugiyama, Japan  
日本

I wonder endlessly  
through a forest of words  
as many as  
the leaves on the trees  
to pick up word by word

木々の葉の数ほど溢れる言語の森を果てなく彷徨う一語探して

Kimiko Miyahara, Japan  
日本

Going-to-the-Sun\*  
supernaturally draws us  
to its rocky brink…  
legendary Napi's launch pad  
thrusts us with him—Godward!

「太陽へ行く山」は神秘さでこのごつごつした岩の縁に私たちを引き寄せる  
—そこは伝説ナピの跳躍台—彼が私たちを突き落とす—神よ

Richard St. Clair, USA  
アメリカ

on hawk mountain  
I see you, wings open  
riding autumn air  
up, down, sideways  
in the white-blue sky

ホーク山で私は羽を広げ 秋風にのって上に下にまた  
横に白がかった青空の中を飛ぶ鷹を見ている

Marilyn Shoemaker Hazelton, USA  
アメリカ

every night  
I wander mountain trails  
following  
your whistling tune  
through winter bare trees

毎夜私は山道をさまよう冬の裸木の間を抜けてくるあなたの口笛の曲を辿りながら

Marilyn Humbert, Australia  
オーストラリア

how many times  
I reached the top  
on mountain paths  
I realized that this trip  
is to oneself

幾度 山道を通して頂上へ辿り着いたか—この旅は自身への旅なのだと悟った

Dan C. Iulian, Romania  
ルーマニア

The snowy peak steals  
my breath under the mountain.  
My voice goes upward.  
I'm the snow melting away  
while the silence just binds us.

山の麓で雪の頂上に息をのみ声をあげる—私は融ける雪のようであり  
静寂が山と私を結びつける

Amir Kapetanović, Croatia  
クロアチア

mountain pine  
the weight  
of the shadow  
I, too  
can feel it in my steps

山は自らの影の重さを恋い慕い私も歩みのなかに自分の重さを感じ取る

Stefanie Bucifal, Germany  
ドイツ

## 外国語短歌佳作

wailing winds and ailing streams  
the mountains stand unmoved  
silent witnesses to footprints  
weeping their testimonies  
into the passing clouds

泣き叫ぶ風と病んでいる川—山は流れる雲に向けた悲嘆の告白の静かな目撃者であり  
冷静に聳えている

Pitamber Kaushi, India  
インド

as I climb  
the face of the mountain  
I hold fast  
to the flimsiest of stalks  
and dreams of immortality

切り立った岩壁を登りながら草のもろい茎と不死の理想にしっかりとつかまる

Michael H. Lester, USA  
アメリカ

part way up  
the mountain of grief  
I stop and look back  
at the valley of loss  
then begin to climb again

遭難の多い山—途中で立ち止り振り向き死者の谷を見下ろし再び登り始める

Joy McCall, UK  
イギリス

summit meeting  
backpack here they all are  
measuring the snow  
the mountain under the blows  
ice ax cries its last drops

山頂に集まる登山家達はみな雪の深さを測るのでピッケルに突き刺される山は  
最後の一滴の涙を落として泣く

Anne-Marie Joubert-Gaillard, France  
フランス

whenever lonely,  
in need, or just to chat  
I called on my Dad  
he was my best friend  
my mountain of solace

寂しい時 助けが必要な時 ちょっと話したい時はいつも父を訪ねた父は  
私の一番の友であり慰めの山だった

Genie Nakano, USA  
アメリカ

at the top  
of a winding mountain path  
I greet  
a day moon, birdsong  
and my shadow

頂上で曲がりくねった山道を登り私は挨拶をする昼の月に鳥のさえずりに  
そして私の影に

Chen-ou Liu, Canada  
カナダ

I climb the mountain  
I climb it earnestly  
climbing is my joy  
and it's my purpose  
in life.

山に登る ひたすら登る 登山とは私の喜び私の目的

Ikuyo Okamoto, Japan  
日本

Is there any  
room for sentiment?---  
Laughing mountain,  
you do not know me,  
be kind to a soul

感傷に浸れる場所ありますか？  
笑っている山よ 貴方は私を理解していない 優しくしてください

Ernesto P. Santiago, Greece  
ギリシャ

now is the time  
I look up at Mount Rainier  
Tacoma's Fuji  
which rises sharply in outline  
against the wide-open sky

天つ空に聳え立つなりいま仰ぐ「タコマ富士」なるレーニア山はも

Y. I. Smith, USA

アメリカ

losing my footing  
every now and then  
on this mountain  
but still I climb  
one step closer to the stars

時折この山で足を踏み外すでも私はまだのぼっているまた星へ一歩ちかづく

Lesley Anne Swanson, USA

アメリカ

soft snow covers  
path up grim Shousanji \* with footprints  
of one before me  
now shallowed by fresh snowfall  
how faint how far everything seems

柔らかい雪が険しい坂道の霊場焼山寺へ私の前を歩いた人の足跡の残る山道を  
覆っている全てがなんと儂くて遥かなのだらう

K.M. Tan, Japan

日本

first of all  
“I looked at Mt. Fuji”  
says my grandson  
who arrived from Osaka  
by Super Express Nozomi

大阪より「のぞみ」に乗りて着きし孫 最初に言ひつ「富士山見たよ」

Hiroko Suzuki, Japan

日本

snow clouds over  
the lofty mountain's  
tranquility  
I hear a thousand cranes  
proclaim our urgent need

雪雲が高山の静寂を覆っている千羽もの鶴が緊急を告げて鳴く

Hazel Hall

upon reaching  
the top of the mountain  
of enlightenment  
I find I have still as yet  
the mountain to climb

悟りの山の頂上に達してすぐに私にはまだ登るべき山があることが分かった

Susan Mary Wade, UK  
イギリス

Mount Fuji –  
I'm on the other side  
of the planet  
but in my daydreams I  
climbed it so many times

富士山-この星の裏側に私は居る でも白昼夢で私は幾度も登頂した

Vasile Moldovan, Romania  
ルーマニア

climbing a mountain  
in the lone glare of mist  
the sound of cowbells  
elevates a spring serenade  
on my spiritual journey

霧のさみしい輝きの中を山に登ればカウベルの音が私の心の旅に  
春のセレナーデを奏でてくれる

Goran Gatalica, Croatia  
クロアチア



even on this mountain  
sorrow never leaves  
how it drifts  
through the tawny tundra  
sowing its hard, shiny seeds

この山の上でさえ悲しみは決して去らず—その硬く輝く種を蒔きながら  
黄褐色の凍土帯を何とあてもなく漂うことか

Dru Philippou, USA  
アメリカ

under a dark cloud  
the sun glides down the mountain  
to horizon  
like Little Prince  
I love the owl light

暗雲の下では太陽が山を滑り降りて地平線へ星の王子様のように私は薄明りを愛す

Silva Trstenjak, Croatia  
クロアチア

Sirens are wailing  
in the Ukrainian sky  
as bombs keep falling  
images of Mount Fuji  
hang upon the shelter's walls

ウクライナの空にサイレンが鳴り響く爆弾が落ち続けているときに  
富士山の姿がシェルターの壁に掛かっている

Keith A. Simmonds, France  
フランス

today, I'm the fog  
overshadowing this world  
while the light fades  
the top of Fuji-San  
makes me illusory real

今日 私はこの世界に影を落とす霧だ光が弱まりゆく間に富士山の頂は私を  
錯覚の實在にしてしまう

Dubravko Korbus, Croatia  
クロアチア

climbing  
heading west  
tears  
seem so close  
the sunset is so beautiful

西を指して登りつつ涙はこんなにも親しく思える日没はこんなにも美しい

Nani Mariani, Australia  
オーストラリア

through the clothesline  
wind from the mountains -  
the moon  
waning and waxing  
in the plum tree in bloom

物干し綱を通る山々からの風 月は花の咲くプラムの木に満ち欠けをして

Steliana Cristina Voicu, Romania  
ルーマニア

Unforgettable  
what it means to me -  
Mount Fuji reflected  
in the lake, surrounded by  
the colours of a rainbow

私にとってそれが何なのか忘れられない—七色の虹のかかる富士山が湖に映っていた

Willemina Preiß, Germany  
ドイツ

pilot smiles happily  
Mt. Fuji is carpeted by flowers  
hopes and dreams of visitors  
can be realized?  
all up to the weather forecast

パイロットは幸せそうに微笑む—花の絨毯に覆われた富士山—  
観光客の期待や夢は果たして現実となるのだろうか？  
それは天気予報次第です

Dragica Ohashi, Japan  
日本

a wild Orchid  
or just a weed  
on the trail  
I wonder  
what kind I am

山道に生えているのは野生の蘭それともただの雑草—さて私はどちらだろう？

Lucky Triana, Indonesia  
インドネシア

the fall afternoon  
my grandfather so close to  
Mount Fuji again  
he looks at the first photo  
he just received from Honshu

秋の午後に祖父は再び富士山を思い日本から届いた最初の写真に見入る

Urszula Marciniak, Poland  
ポーランド

佳作

「らーくー!らーくー!」ととっさに声をかけ合いて六年生が団結してゆく 浦上 紀子

多磨霊園桜並木の先の空頂き白き3776 浅井 達夫

ありがたしツアーで登る富士の山財布を落とすも後ろの人が 井口 顕彰

地蔵から薬師の向こうに不死の山 弾む息とめシャッターを切る 石井 研士

赫奕と夜は明けゆく御来光とよばるる神のなせる業にて 下田 裕子

高層のビル群越しに富士を見る 富士はビル越え我を見ている 西原 未菜

雀士ゆえ最高級の誉め言葉「富士の雪って白(はく)より白い」 横山 恵

照明の落ちてゆっくり浮かびくる「松竹」の文字おらかな富士 黒木 淳子

〈生まれたよ〉娘のメールに万緑の富士へむかって万歳をする 林 充美

とおめがねアサヒプラザのあのへんね昔は富士が見えたんだって 紡 ちさと

富士代の名を持つ畑で亡き父と遥かに目凝らし富士を探しぬ 中屋敷 歩

冬晴れの車窓のかなた白富士に勤めの日々の癒しをもらう

蛸谷 定幸

唐突に真白き富士のあらはれて特別になる乗り換えの駅

岡本 千晶

高校の皆大雪溪下りきてカレースプーンの立ちたる水飲む

上ノ山亜紀

飛行機にバスに電車に富士が見え今日から三泊四日の富士見

藤林 正則

白黒の山の写真が寝室にあった家の娘球子の富士山

七里 松枝

羅白嶺に羆の影を畏れつつ頂上踏めば天水甘し

相馬 芳子

わが祖（おや）に富士を見る日のありしかと思ふも遠き駿河また甲斐

眞庭 義夫

筑波嶺を朝な夕なに眺めては橋の上から冬の富士待つ

岩瀬 悦子

たどりつきし山頂は晴烈風の吹きすさぶのみ神棲むところ

小林 洋子

本当に富士に似合ふか月見草太宰治は嫌ひな作家

庭野 治男

日だまりに群れて咲きおる二輪草筑波男体山頂上はすぐ

新井美智子

森をぬけ山頂に着くや「ヤッホー」と叫ぶ子の声あをに響けり

三井せつ子

富士山の焼き印のあるお饅頭茶会に食めば笑みの零るる

塩田 文子

砂走りズズーと滑り降り砂の感触今も忘れじ

鮎川 栄

溶岩（ラバ）を踏む人には見えむ灼熱の甲府に望む蒼き富士山  
室井 睦美  
にくにくしきプーチンの国の兵士にも見せてやりたし冠雪の富士  
市之瀬 進  
夕暮れを歩きながらに仰ぐ富士雪の稜線ほのかに染まる  
山下かず子

ひと夜さの雪に巢立ちし農鳥か富士の山肌白ひと色に

松村 保

雲はらし富士山頂は雪化粧裾野に風の秋の深まる

原 寅夫

登山電車の是非も課題に富士山が世界遺産となりて十年

羽田眞智子

夜の更けて富士の森よりかん高く眠りを覚ます牡鹿の叫び

増田チサ子

十八歳（じゅうはち）の友と笑ひの止りなし富士の下りに靴破れしも

丸田 和子

山河在り国はやぶれて八十年忘れよ遠いとほい夏の日

加藤 裕司

煙のぼる富士の裾野の西行をおもひつつゆく小夜の中山

中林 祥江

イエス・ノーの間をゆれる吾の前を車窓の富士はゆっくり過ぎる

辻本 和美

青い富士仰ぎ医院の前を掃く十五の春は山に抱かれき

安藤 喜子

御嶽は飛驒山脈の南端ぞ靈峰にして雷鳥の棲む

尾崎 珠子

母の葬（はぶ）りに向ふ列車は白妙の富士の裾野をめぐりめぐれる

黒田 道子

たちまちに富士山頂を霧とざし溜め息もれる富士山五合目

園部 淳

給金をもらって富士の小屋去れば炭火滲みの風が背を押す

萬 幸子





【選者】

選考委員長  
選考委員

三枝昂之（山梨県立文学館館長、  
徳村 弘（日本経済新聞歌壇選者）

東 直子（東京新聞歌壇選者）

外国語特別審査員

荻田吉夫（元ニューヨーク総領事 元宮内庁式部官長）

山本忠通（元国連事務総長特別代表 事務次長）

結城 文（国際タンカ協会会長）

【開催団体】

富士山大賞実行委員会

NPO 法人富士山自然文化情報センター

NPO 法人富士山クラブ

世界連邦文化教育推進協議会

全国富士講睦会

一般財団法人 徳大寺文庫

【後援】

國學院大學 富士山世界遺産国民会議

【映像協力】

富士山世界遺産センター 山梨県 ロッキード田中

